

令和7年度 第1回

小城市文化財保護審議会

小城市教育委員会

令和7年5月27日(火)

小城市立歴史資料館 研修室

令和7年度 第1回小城市文化財保護審議会資料〔公開用〕

と き 令和7年5月27日（火） 14:00 から
ところ 小城市立歴史資料館 研修室

〔次 第 〕

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 委嘱状交付
- 4 事務局の紹介
- 5 会長・副会長の選任
- 6 会長あいさつ
- 7 公開事項の審議
- 8 議 題
 - (1) 令和6年度の文化財保護行政について（事業報告）
 - (2) 令和7年度の文化財保護行政について（事業計画）
 - (3) 小城市重要文化財の指定について 〔非公開〕
 - (4) その他 〔非公開〕
- 9 閉 会

〔 事 務 局 〕 小城市教育委員会 文化課
〒845-0001 小城市小城町 158 番地 4
TEL 0952-73-8809
FAX 0952-71-1145
Mail bunka@city.ogi.lg.jp

〔 資 料 目 次 〕

- | | |
|---------------------------|------|
| 1 令和7・8年度小城市文化財保護審議会委員名簿 | 1 |
| 2 令和7年度小城市教育委員会文化行政組織 | 1 |
| 3 令和6年度の文化財保護行政について（事業報告） | 2-8 |
| 4 令和7年度の文化財保護行政について（事業計画） | 9-13 |

[資料1] 令和7・8年度小城市文化財保護審議会委員名簿

任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日

番 号	氏 名	専門分野	現 職
1	藤口 悦子	歴史・文書	元徴古館副館長（学芸員）
2	竹下 正博	仏教美術・刀剣	佐賀県立博物館 副館長
3	原田 保則	考 古	元武雄市教育委員会
4	伊藤 昭弘	歴史・文書	佐賀大学地域学歴史文化研究センター センター長
5	安永 浩	民 俗	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 企画学芸課長

[資料2] 令和7年度小城市教育委員会文化行政組織

小城市教育委員会	教育長	大野 敬一郎
	教育部長	田中 伸嗣
文化課	課 長	田久保 佳寛（資料館長・梧竹記念館長・図書館長兼務）
	副課長	本村 正剛（文化振興係長兼務）
文化財保護係	係 長	太田 正和
	主 査	本村 浩二
	主 査	永田 稲男
	調査員	前田 佳奈子
文化振興係	係 長	本村 正剛
	主 査	川崎 弥寿博
	主 査	松尾 愛子
	学芸員	古庄 秀樹

〔資料3〕 令和6年度の文化財保護行政について（事業報告）

1 埋蔵文化財調査事業

（1）開発に伴う確認・試掘調査

小城町7件、三日月町7件、牛津町3件、芦刈町0件、 計17件

開発の内容

宅地造成7件、個人専用住宅4件、店舗1件、その他5件



寺浦遺跡確認調査



寺浦遺跡確認調査トレンチ

（2）下町遺跡1区文化財発掘調査（受託事業）

令和5年度に実施した発掘調査の報告書作成

（3）下町遺跡2区文化財発掘調査（受託事業）

令和5年度に実施した調査地点の東側

令和6年11月～令和7年2月実施 面積200㎡

弥生時代中期末～後期の集落跡（竪穴住居跡7基、土坑、柱穴等）



下町遺跡2区 遠景（西から）



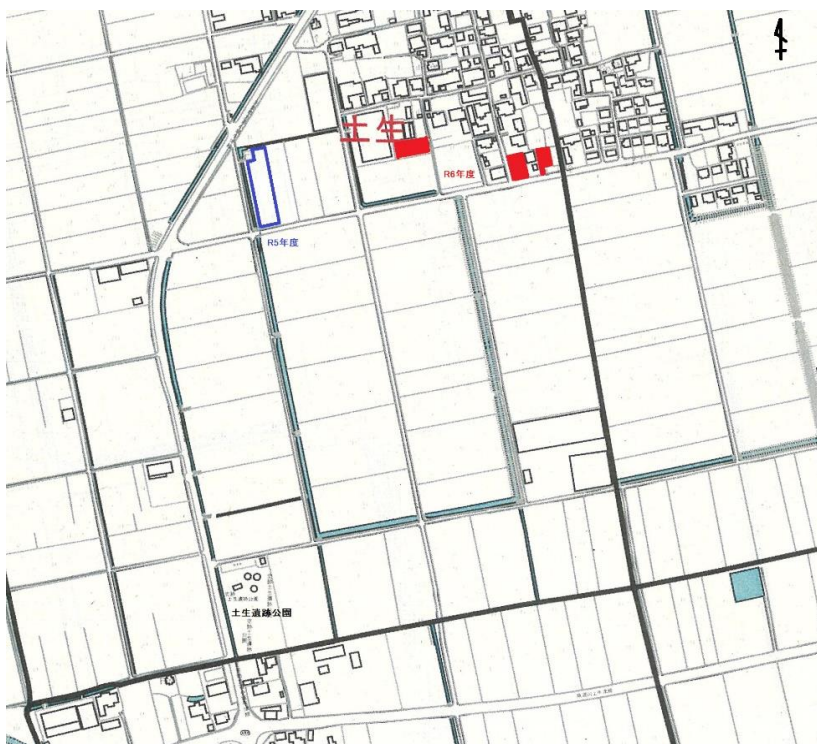
下町遺跡1・2区 遺構分布図

(4) 土生遺跡範囲確認調査

5ヵ年計画の2年目

3地点に6ヵ所のトレンチを設定

弥生時代中期の土坑や性格不明遺構を検出



土生遺跡調査地点位置図



遺構検出状況



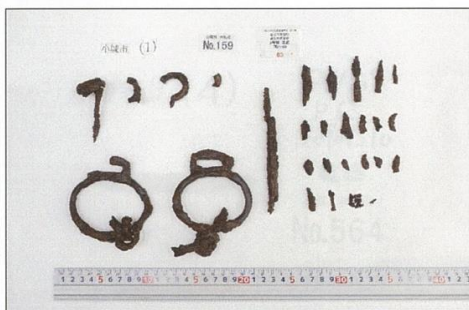
柱穴半裁状況

(5) 出土遺物の保存処理

西谷六角遺跡出土の馬具、丁永遺跡8区出土の棒状鉄製品

一本松古墳群出土の耳環・銅釧 計6点

【処理後】



【処理後】



(1) ~ (2) 西谷六角遺跡、(3) ~ (4) 丁永遺跡、(5) ~ (6) 一本松古墳群

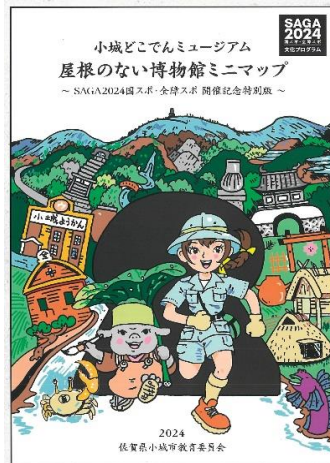
2 屋根のない博物館事業

(1) ミニマップの増刷

SAGA2024国スポ・全障スポ開催記念特別版 10,000部発行

昭和51年開催 若楠国体（第31回国民体育大会）の特集ページ

小城町で軟式庭球、牛津町でバドミントンが開催されたことなどを紹介



第3版表紙



若楠国体紹介ページ

(2) 説明板の設置

持永城跡（牛津町乙柳）

福田寺（芦刈町小路）

小路遺跡出土石塔群（芦刈町牛王：芦刈公民館）



令和6年度説明板設置箇所

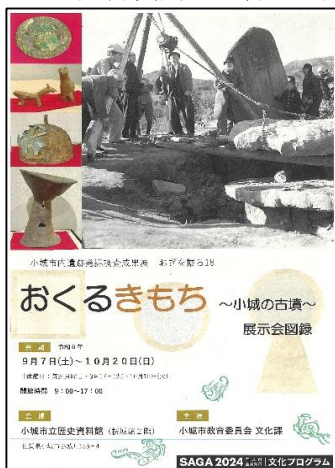
(3) 市内遺跡発掘調査成果展

おぎを掘る18「おくるきもち～小城の古墳～」

令和6年9月7日（土）～10月20日（日）

来場者数 278人

円山古墳出土の冑や鉄剣等、市内14遺跡から出土した176点の資料を紹介



図録表紙



円山古墳出土 冑・短甲

(4) 土生遺跡公園まつり

親子でデーキャンプ

日 時 令和6年11月9日（土）10：00～16：00

場 所 史跡土生遺跡公園

参加人数 4組20人

貫頭衣に着替え、火おこしや土器復元に挑戦、弓矢で遊びました



火おこし体験



弓矢で遊ぼう



土器復元体験



デーキャンプ風景

(5) 文化財ウォーキング

日 時 令和6年11月2日(土) 9:00～ 雨天中止
勝妙寺～円山古墳～円明寺～須賀神社～小柳酒造～光栄菊酒造

3 指定文化財維持管理事業

日常的に維持管理が必要な指定文化財の清掃等委託 全11ヵ所14件
一本松古墳群、星巖寺、玉毫寺、岡本薬師堂、織島神社の楠、
梧竹観音堂、空山観音三十三体石仏像など

4 国史跡土生遺跡公園維持管理事業

樹木の維持管理委託(剪定・草刈・芝刈・消毒等)
清掃作業委託(トイレ)、
機械警備委託(竪穴住居・高床倉庫)

5 小城市文化財保護審議会運営事業

年3～4回開催

第1回 令和6年5月20日(月) 14:30～

令和5年度事業報告・令和6年度事業計画、市重文の指定について

第2回 令和6年7月24日(水) 14:30～

市重文の指定候補について

第3回 令和6年12月16日(月) 14:30～

市重文指定候補資料の調査進捗状況について

土生遺跡範囲確認調査の進捗状況について

第4回 令和7年3月14日(金) 13:30～

清水山岳宗教遺跡の現地見学



正応5(1292)年銘の板碑出土地点



永仁5(1297)年銘の板碑

6 小城市重要文化財の指定

令和6年度は指定なし 調査継続中

7 土生遺跡調査委員会

年2回開催

七田忠昭 委員長（佐賀城本丸歴史館館長）

重藤輝行 委員（佐賀大学芸術地域デザイン学部教授）

山崎頼人 委員（京都府京都文化博物館学芸員）

第1回 令和6年6月26日（水）14：30～

令和5年度の土生遺跡範囲確認調査概要報告

令和6年度の土生遺跡調査日程について

第2回 令和7年3月12日（水）14：30～

調査指導：文化庁 長調査官、県文化財保護・活用室

令和6年度の土生遺跡範囲確認調査の現地指導について

山崎委員の研究発表「佐賀県における無文土器からみた日韓交流」

現地指導



委員会風景



現地指導風景

8 県指定重要文化財整備事業

牛尾神社（小城町池上）の肥前鳥居の修理補助

（県：総事業費の3/8、市：県費補助額を差し引いた額の3/8）

落下した額束の復旧

令和6年5月1日、牛尾神社氏子よりき損の連絡

令和6年12月 復旧完了



復旧前



落下した額束



復旧後

〔資料4〕 令和7年度の文化財保護行政について（事業計画）

1 埋蔵文化財調査事業

（1）開発に伴う確認・試掘調査

開発に先立ち年間20件程度実施予定

深川遺跡（社殿改築）、下久米遺跡（分譲地造成）

（2）下町遺跡1・2区文化財発掘調査（受託事業）

令和5・6年度に実施した発掘調査の報告書作成・刊行

（小城市文化財調査報告書第47集 令和8年3月刊行予定）

（3）土生遺跡範囲確認調査

5ヵ年計画の3年目

過去の調査内容の再検討、調査地点の選定、確認調査を予定

（4）出土遺物の保存処理

一本松古墳出土 鉄斧・馬具（轡）、

西谷六角遺跡出土 馬具（轡・絞具）

計4点



一本松古墳 鉄斧



西谷六角遺跡 馬具（轡）



一本松古墳 馬具（轡）



西谷六角遺跡 馬具（絞具）

2 屋根のない博物館事業

(1) 説明板・案内板の設置

説明板

丹坂峠古戦場跡（小城町池上）

芦刈鴨打氏館跡（永林寺）（芦刈町中溝）

高札型説明板

岡本薬師堂の無縫塔（三日月町岡本）

案内板

宇佐神社（三日月町道辺）



令和7年度説明板設置予定箇所

(2) 市内遺跡発掘調査成果展

おぎを掘る19「展示会名未定」

会 期 令和7年9月6日（土）から10月19日（日）

展示資料 丁永遺跡出土丁亥年銘刻書紡錘車（県重文）

石木中高遺跡出土土偶（市重文）

令和6年度保存処理遺物ほか

(3) 土生遺跡公園まつり2025

日 時 令和7年11月上旬から中旬の土曜日 10：00～16：00を予定

(4) 文化財ウォーキング

日 時 令和7年11月上旬の土曜日 9：00～12：00を予定

3 指定文化財維持管理事業

日常的に維持管理が必要な指定文化財の清掃等委託 全11ヵ所14件

一本松古墳群、星巖寺、玉毫寺、岡本薬師堂、織島神社の楠、

梧竹観音堂、空山観音三十三体石仏像など

4 国史跡土生遺跡公園維持管理事業

樹木の維持管理委託（剪定・草刈・芝刈・消毒等）

清掃作業委託（トイレ）、

機械警備委託（竪穴住居・高床倉庫）

5 小城市文化財保護審議会運営事業

年3～4回開催

第1回 令和7年5月27日（火）14：00～

第2回 令和7年7月下旬 14：00～ 指定文化財の諮問、内容検討

第3回 令和7年11月中旬 14：00～ 指定調書（案）の検討

第4回 令和8年2月下旬 14：00～ 答申

6 小城市重要文化財の指定

丁永遺跡出土丁亥年銘刻書紡錘車が佐賀県重要文化財に指定された

（資料12～13頁）

7 土生遺跡調査委員会

年2回開催予定

第1回 令和7年6月下旬～7月中旬に開催予定

第2回 確認調査の期間に開催予定

1 種 別	佐賀県重要文化財（考古資料）
2 名称及び員数	ていがいねんめいこくしよぼうすいしや 丁亥年銘刻書紡錘車 1 点
3 指定年月日	令和 7 年 5 月 2 日（重第 263 号）
4 所在の場所	佐賀県小城市小城町 158-4（小城市立歴史資料館）
5 所有者の氏名及び住所	小城市 佐賀県小城市三日月町長神田 2312-2
6 概 要	

本資料は、脊振山系の天山南麓^{てんざん}の扇状地上に位置する小城市丁永遺跡^{ちやうなが}からの出土である。丁永遺跡は弥生時代から中世にかけての集落跡であり、平成 19 年度に丁永遺跡 2 区の発掘調査が実施され古墳時代から平安時代にかけての堅穴住居跡や土抗、溝跡等が検出されている。本資料は、そのなかの小穴（遺構番号 P070）より出土した。

紡錘車^{ぼうすいしや}とは、穿孔を施した円盤型の石製品または土製品（紡輪^{ぼうりん}）に、軸棒^{ぼうけい}（紡莖）を差し、回転させて繊維に撚^よりをかける道具である。紡錘車の両面や側面に文字を刻むものを「刻書紡錘車」と呼ぶ。

紡錘車に刻まれる文字としては、人物名や地名、年号、日付、願文（仏教信仰にかかわる文言）などが挙げられる。その用途としては、明確な結論はいまだに出ないが、紡織^{ぼうしよく}にかかわる祭祀・儀礼等の行為で使用されたと考えられており、刻まれる文字はそれらの行為にかかわった人物や集団、郷名などを表していたとみられる。

本資料は一部欠損しているものの使用時の形態を良好に保っており、直径 4.58cm、厚さ 0.75cm、孔径 0.77cm を測り、重量は 27.5g である。材質は片状蛇紋岩^{へんじょうじゃもんがん}（滑石^{かつせき}を含む可能性^[亦もしくはホカ]）である。断面長方形を呈し、上面には「丁亥年 六月十二日 □ 梶十□□^[万呂カ]」と線刻されている。刻書の際には鋭い針状の金属器が使用されたとみられる。

記されている内容は「年・月・日＋人名」と考えられ、「年」・「月・日」・「人 名」のそれぞれの節毎に約 90 度向きを変える。釈文は「丁亥年^{ていがいねん} 六月十二日^{ろくがつじゅうににち} □ 梶十□□」で、人名部分は「亦^い梶^て十^と万^う呂^{まろ}」もしくは「赤^あ梶^て十^と万^う呂^{まろ}」と読める。刻まれた文字は中国六朝風の古様の字体の特徴をよくあらわしている。また、本資料に刻書された干支表記は大宝律令施行（西暦 701 年）以前の木簡にみえる書式で、大宝律令施行以降は年号表記が通例となる。刻まれた文字の特徴や共伴した土器片の観察から、本資料は「丁亥年」＝西暦 687 年にあてることができる。

7 指定の理由

刻書紡錘車は関東地方に集中して分布しており、九州地方における出土事例は本資料を含め長崎県大村市竹松遺跡^{たけまつ}や佐賀県鳥栖市門戸口遺跡^{もんぐち}のみと希少であり、本資料は、これらに先だち九州地方において初めて発見された事例である。さらに、本資料は現時点で、日本国内で出土している紀年銘を有する刻書紡錘車の中で最古の年代を刻むものである。

以上のことから、佐賀県文化財保護条例第 4 条第 1 項の規定に基づき佐賀県重要文化財に指定し、その保存及び活用を図るものである。

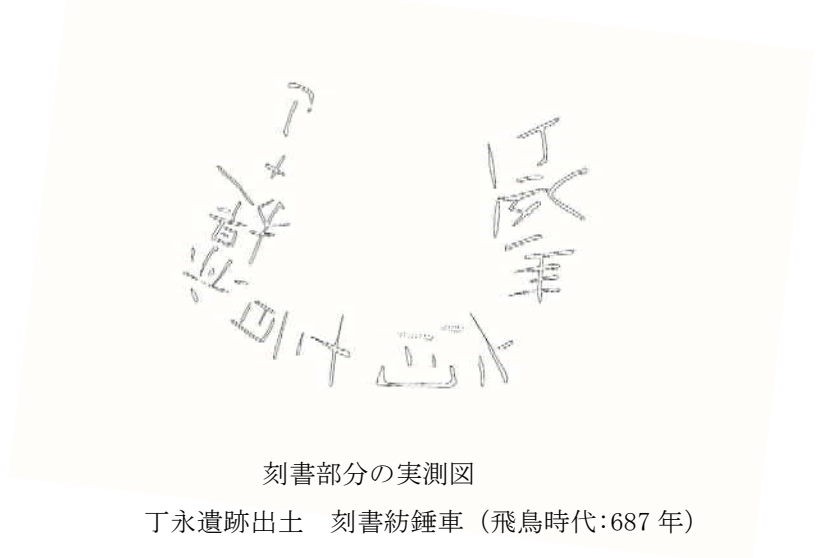
8 その他参考となるべき事項

(参考文献)

- ・太田 正和 2010「丁亥年銘刻書紡錘車について」『北小路遺跡1・2区 丁永遺跡1・2・4・5区』小城市文化財調査報告書 第9集 小城市教育委員会
- ・高島 英之 2014「記年銘刻書紡錘車の基礎的研究」『日本古代の国家と王権・社会』塙書房
- ・高島 英之 2019「東北及び九州出土古代刻書紡輪の歴史的意義について」『東北及び九州出土古代刻書紡輪の歴史的意義について』第37集 群馬県埋蔵文化財調査事業団
- ・高島 英之 2023「刻書紡輪」『墨書土器と文字瓦―出土文字史料の研究―』吉村武彦・加藤友康・川尻秋生・中村友一編 八木書店



86



刻書部分の実測図

丁永遺跡出土 刻書紡錘車（飛鳥時代:687 年）